

令和3年2月24日

意見書

足柄上商工会経営発達支援計画事業評価委員会

仁科 亮

令和2年度経営発達支援事業(伴走型支援推進事業)の実施結果について

・**総評**：令和2年度経営発達支援事業(伴走型支援推進事業)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などの影響をうけた厳しい事業環境の中にあつて、着実に事業を推進することができたと評価します。

・**地域の経済動向調査**：「RESAS」「eSTAT」などを活用して、地域経済の生産性、産業構造、人口の動き、流動人口や消費の傾向などについて、分析をおこなった。今後これらの分析結果を活かした地域経済の活性化策が展開されることが期待される。

・**経営状況の分析**：これまで指導・支援を行った事業者及び融資推薦や補助金申請をおこなおうとする事業者に対して、定性・定量両面からの経営状況分析を実施した(延べ143事業所)。融資、補助金といった資金確保につなげる形で、事業者への支援ができた

・**事業計画策定支援**：補助事業計画策定(63事業所)を中心に計画策定支援を実施した。また、売上・利益向上や販売促進、IT活用などをテーマにしたセミナーを契機とした事業計画策定支援も着実に実施することができた。

・**事業計画実行支援等のフォローアップ**：事業計画策定をした事業者等に対して、中小企業診断士などが専門的で現実的な見地をもって実行支援等のフォローアップをおこなっている。計画策定で支援を終了するのではなく、事業計画策定(修正)の習慣化、計画と実績の差異分析などマネジメントサイクルを回していくことで、最終的には、事業者の売上・利益の確保につなげていく活動を今後も意識的に継続されたい。

・**需要開拓支援**：今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響への対応を優先したため、需要開拓の事業は計画通りに実施できなかった。来年度以降は、事業者紹介ポータルサイト「足柄人」やウェブショップをサービス分野や製造技術分野などの業種にも拡大充実させて展開していくことが期待される。

・**「地域経済活性化に資する取組」「他の支援機関との連携ほか情報交換」**については、本年度は、新型コロナウイルス感染症等の影響により十分な活動ができなかったが、次年度以降はリモート(オンライン)技術等を活用するなどして、充実した活動を展開することが期待される。

・**経営指導員の資質向上**：今後も定期的なミーティングの開催や計画的な外部研修への参加などを通じて、情報の共有や見識の向上を図られたい。

以上